

2024 年度 高温ガス炉プラント研究会

第 2 回運営会議

議事録

高温ガス炉プラント研究会事務局

(株)桜門イノベーションリサーチ

1. 日時 : 2024 年 7 月 5 日 (金) 9:00~10:30

2. 開催形態 : オンライン会議 (ZOOM)

3. 運営会議メンバー (順不同・敬称略)

会 長 : 岡本 孝司 (東京大学)

会長代理 : 山本 一彦 (学術著作権協会)

会 員 : 諸菱 亮太 (大林組)、小林 智弘 (鹿島建設)、森 由佳 ((代) 小原 博人、
清水建設)、持丸 雅典 (東芝エネルギーシステムズ)、石垣 嘉信 (富士電
機)、濱本 真平 (Blossom Energy)、谷平 正典 (三菱重工業)

T A : 都筑 和泰 (エネルギー総合工学研究所)

事務局 : 石塚 冬樹 (桜門イノベーションリサーチ)

4. 配付資料

運営 2-0 2024 年度 高温ガス炉プラント研究会 第 2 回運営会議 議事次第

運営 2-1 2024 年度 高温ガス炉に関する国内外動向調査報告 (第 1 報)

運営 2-2 次回会議・講演会について

参考資料 2024 年度 第 1 回運営会議 議事録

5. 報告（事務局）

長期にわたり会員・オブザーバーとして研究会にご尽力いただいた富士電機大橋一孝氏が病氣療養のためオブザーバーを退任されました。自宅にて療養中でお元気とのことでした。

6. 議事概要

（1）岡本会長あいさつ

- ・状況に大きな変化はない。9月10日の会議に大学の先生方にお集まりいただくべく話を進めたい。スケジュールや講演者が決まったら、先生方にメールで案内したい。仙台での学会の前日なので、ある程度参加いただけたらと思う。
- ・三菱重工が国のプロジェクトを支えて JAEA がそれをサポートするという状況は変わらない。イギリスで政権交代があり、スナク首相が退陣し、代わって労働党となるが、大きな方針変更はないのではないと思う。
- ・世界の情勢に振り回されながらも少しずつ進むという形で、プラント研究会としてプロジェクトをしっかりとサポートしていきたい。

（2）2024 年度 国内外動向調査報告（第 1 報）（運営 2-1、都筑 TA）

- ・調査対象会議の原子力学会春の年会（2024 年 3 月 26～28 日、近畿大学東大阪キャンパス）における高温ガス炉に関する発表 16 件の概要をとりまとめた。
- ・研究機関の内訳は、名古屋大学、原子力機構、東京大学、東京工業大学、九州大学、近畿大学、東北大学、QST、東芝エネルギーシステムズ、大阪大学、三菱重工業、北海道大学であった。分野内訳は総合講演、スリーブレス燃料、トリチウム製造と閉じ込め、核計算、核計算コード開発、反応度測定であった。
- ・政治的側面としては、イギリスにおける X-energy 社や中国 CNNC で興味深い動きがあった。
- ・JAEA 大橋次長から紹介いただいた HTR2024（10 月、北京）への取組は今後検討する。

（3）大学との連携について（岡本会長）

- ・冒頭で述べたとおり、大学の先生方を 9 月 10 日の会議に案内する方向で、本日プログラムの大筋を定めたうえで先生方にメールする。
- ・定期講演会の計画検討は 9 月からになるが、学生を含めて行うなど提案できればと思う。研究会オブザーバーも含めて議論した。

（4）次回会議・講演会について（運営 2-2、事務局）

【説明】

- ・9 月 10 日の情報交流会議は、参加人数によって会議場所を決める必要がある。
- ・国内外動向調査については、前半の運営会議と後半の情報交流会議で一括して行うか別バージョンとするか伺いたい。

【討議】

- ・国内外動向調査報告は情報交流会議にて一括して行う（都筑 TA）。第 3 回運営会議の

議事からは削除する。

- ・情報交流会議の参加者には、電力会社など委員会オブザーバーも含めるか。
→含めることとする。最大 10 名となる。
- ・先生方にもお話をしていただくのか。
→せっかくの交流会なので、A4×1 枚程度で話していただくようお願いする。
- ・情報交流会議の参加人数は、JAEA2 名、大学の先生最大 8 名、運営会議メンバー12 名、委員会オブザーバー10 名で最大 32 名となる。エネルギー総合工学研究所（以下、エネ総研）会議室の収容人数は。
→机 3 人掛けで公称 30 名程度だがかなり窮屈でおすすめできない。椅子のみであれば 30 名程度は可能。
→外部会議室は高額なので、エネ総研会議室にて椅子のみとしたいがどうか。
→特に異論なく決定。
→懇親会会場についても人数、料金等を店と相談する（会長代理）。
- ・交流会議最後の「今後の連携の進め方」は、研究会側から資料を用意するのか。
→会長が作成された「高温ガス炉大学コンソーシアム（案）」の提示でどうか（前回資料 運営 1-3 参照）。
→「今後の連携の進め方」についての意見交換は時間を長めにしてはどうか。どのような時間配分を想定しているか。
→情報交流会議の議事項目と時間配分は。
 - ①会長：挨拶・主旨説明（10 分）
 - ②参加者：自己紹介（計 10 分）
 - ③会長代理：プラント研究会の紹介（10 分）
 - ④JAEA：国内外プロジェクトの進捗状況（25 分、質疑応答含む）
 - ⑤プラント研究会：国内外動向調査報告（25 分、同上）
 - ⑥各大学：原子力全般、高温ガス炉、学生の状況等（各先生 5 分×最大 8 名＝40 分）
 - ⑦意見交換：今後の連携の進め方（30 分）計最大 150 分（14:30～17:00） 時間配分は参加人数等により調整する

【会議等日程セット】

- ・定期講演会：東京大学山上会館 2025 年 1 月 20 日（月）
午後枠（1300-1630）及び夜間枠（1730-2100）
- ・第 4 回運営会議（9 月 10 日の会議フォローのため前倒し実施）
9 月 27 日（金）9:00～11:00 ZOOM

（5）その他

- ・（会長代理）HTTR 見学会の提案
先日別件で見学会を行ったが、プラント研究会としても内部見学をしたことがないメンバーを対象として見学会を企画したい。日程等調整のうえ、後日連絡する。
- ・（会長）中国視察ツアー
日本技術者連盟井戸田勲氏が中国ツアーの企画を行っており日程が確定した。9 月 19 日に精華大学でセミナー、20 日に HTR-PM の見学で、9 月 18 日出発、9 月 20 日帰国

となる。資料が着いたら配付するので検討されたい。

7. 決定事項のまとめ

(1) 今後の日程

- ・ 第3回運営会議 : 9月10日(火) 13:30～14:15 エネ総研会議室
- ・ 第1回情報交流会議 : 同 14:30～17:00 エネ総研会議室
- ・ 懇親会 : 同 17:30～(2時間程度) 近隣の飲食店
- ・ 第4回運営会議 : 9月27日(金) 9:00～11:00 ZOOM
- ・ 第19回定期講演会 : 2025年1月20日(月) 13:00～17:00 東京大学山上会館
- ・ 情報交換会(懇親会) : 同 17:30～ 同会館 1F レストランスペース

(2) 第3回運営会議及び第1回情報交流会議議事次第(案)

別紙1, 2参照。

ー以上ー